

天文教育

2011 5

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



<連載> 恒星天文学の源流／天文教育普及研究会の歴史

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文学教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～3は原則として奇数月末日、4～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

※本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net、FAX：0566-26-2624

表紙の言葉

太平洋に昇る春の星空

撮影時：1990年11月16日3時57分より63分露出

撮影地：宮城県亘理町吉田浜 防潮堤上

Pentax MX SMC Pentax A 16(16mm, F=2.8) RVP50(+1)

GOTO MarkXにて前半ガイド、後半固定

この「春の大三角」を撮影したのは、秋の夜明けです。仙台に住んでいた頃、星空を見ようと思うと、西の蔵王か、仙台平野の東に広がる海岸線でした。日本海側出身の私にとって、太平洋の彼方から昇って来る星はあこがれの存在でした。そして、実際に

美しい光景でした。潮風に当たりながら、波の音が響く海岸線は、「星空」を、いや、この「地球」や「宇宙」を五感のすべてを使って感じる事が出来る場所だったのです。この写真は、海岸に沿った4mを超える高さの防波堤の上から撮影しています。

3月11日、この海岸を10m以上の津波が襲い、防波堤を乗り越え、2-5kmほど内陸まで進入しました。多くの人々のいのちを奪い、家や田畑を流し去って行ったのです。いま、私に何が出来るのか、そして以前のように復興できるのか、考えるほどに立ち止まり戸惑う日々が続きます。

撮影と文 大西浩次（長野高等工業専門学校）